

長浜市図書館基本計画実施プラン 令和5年度事業評価書

令和6年9月

長浜市立図書館

評価基準

- A 計画以上の取組みをおこない、目標を超える成果があった(100%超え)
- B おおむね計画に沿って実施し、課題はあるが、目標を達成できた
(80%以上～100%)
- C 実施したが、課題が多い(50%以上～80%未満)
- D ほとんど実施できなかった(50%未満)

令和5年度の図書館評価を終えて

令和5年度図書館評価の結果を報告する。評価の対象は、『長浜市図書館基本計画実施プラン』で設定されている20の指標項目である。評価にあたっては、図書館協議会のなかに設置した小委員会が、図書館職員に対する詳細なヒアリングを行いながら、評価の原案を作成した。その原案について、図書館協議会のメンバー全員が参加して検討を行い、若干の修正を加えて成案としたのが本報告である。

それぞれの指標項目は、AからDの4段階で評価してある。結果の全体を概観すると、20の指標項目に対してA評価（9）、B評価（7）、C評価（2）、D評価（2）という結果であった。A評価とB評価を合計すると、20の指標項目のうちの80%（16）にまで達している。このことから、長浜市立図書館では、望ましい図書館サービスが提供されているものと判断できる。また、成果や課題として担当職員が書き込んだコメントからは、長浜市の図書館活動に対する職員の熱意や工夫が強く感じられた。

残念な点としては、指標項目「個人貸出冊数」の減少があげられる。年間100万冊という目標値に対して、実績値は約84万冊と目標値を大きく下回っている。しかも、この個人貸出冊数は、令和3年度・4年度・5年度と連続して減少を続けている。貸出冊数の減少は全国的な傾向であり、図書館界全体の大きな課題ではあるが、長浜市立図書館ならではの解決策を考案していただきたい。

令和6年度は『長浜市図書館基本計画（第2期）』の計画期間（令和4年1月～令和9年3月）の中間年となる。本報告の内容が今後、図書館をはじめとする市の関係部門職員によって共有され、また広く市民による理解と支持を得て、本市図書館事業の一層の進展に寄与することを期待する。

長浜市図書館協議会

会長 山本 昭和

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標1】市民の役に立つ図書館

		令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	I	個人貸出冊数	1,000,000冊 840,236冊
今年度重点的に取り組む目標	市民の生活に役立つ資料や関心が高い資料を購入し、見やすく手に取りやすい棚づくりをおこないます。		
重点的に取り組んだ項目	①長浜図書館では、資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。		令和5年度達成状況
成果	約19,000冊の資料を新しく受け入れ、各館に配架しました。大活字本や朗読CDなど多様な資料を長浜図書館を中心に積極的に収集しました。また、選書の研修をおこない職員のスキルアップを図りました。 分野によって書架の場所を変えるなど、見やすい棚づくりをおこないました。		B
課題	未利用者も視野に入れて、誰もが利用しやすい資料や知的好奇心を喚起し、暮らしに役立つ資料を幅広く収集し、提供していく必要があります。		
委員意見	各館の貸出実績を元に、配本がおこなわれており、選書のスキルアップも図られている。 コロナ禍を脱しても貸出冊数の減少が解消されていないので、危機感を共有し、改善の取組を進められたい。		外部評価
			B

		令和5年度目標値		令和5年度実績		
指標項目	2	予約・リクエスト年間受付件数	160,000	件	180,465	件
今年度重点的に取り組む目標		予約の多い資料、提供の遅れている資料の定期チェック機能を強化し、迅速な資料提供をおこないます。				
重点的に取り組んだ項目		①長浜図書館では、資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。			令和5年度達成状況	
成果		ベスト予約のほかに未提供や提供遅れの予約資料を定期的に調べ、提供期間の短縮を図りました。			A	
課題		未所蔵資料はリクエストできることを知らない利用者があり、誰でも受けられるサービスであることを周知していく必要があります。				
委員意見		利用者がウェブ予約を上手に使われている様子がある一方で、ウェブ予約に使いづらさもあるように見受けられる。予約・リクエストの制度を、カウンターでの声掛けや対応も含め、周知し続けていくことが大切である。			外部評価	
					A	

			令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	3	自主講座や展示の年間開催数	12回	10回
今年度重点的に取り組む目標	図書館利用の幅が広がるような企画展示や講座を実施します。			
重点的に取り組んだ項目	④生活の課題を解決するヒントとなり、学習や活動のきっかけとなるような講座や展示をおこないます。			令和5年度達成状況
成果	本の修理のボランティア専門講座は、昨年度より高度な内容で実施し、技術のレベルアップができました。また、「旧長浜市立図書館の定礎にあったもの展」「曳山展示」の企画展示を実施し、幅広い分野の資料を紹介することができました。			B
課題	前年度と比較して、図書館独自の企画展示に取り組むことが困難でした。既存の展示場所だけでなく、ブックトラックなどを活用して柔軟なミニ展示をすることも必要です。			
委員意見	市民の来館や図書館利用のきっかけになるように工夫して、開催数の増加と内容の充実に取り組まれない。			外部評価
				B

			令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	4	レファレンス事例のHP公開数	12件	14件
今年度重点的に取り組む目標	一般編6件、地域編6件の事例を公表します。			
重点的に取り組んだ項目	⑥レファレンス事例や回答例のデータ蓄積を進め、活用します。			令和5年度達成状況
成果	地域編6件、一般編8件を図書館ホームページに公開しました。レファレンス事例を153件収集しました。職員全員を対象にした研修を2回（レファレンスインタビュー・実践）、初任者研修を3回実施し、レファレンスサービスの知識を深め、スキルアップすることができました。			A
課題	全職員への継続的研修だけでなく、初級や中級の経験年数に合った研修を引き続き実施し、レファレンス力を上げることが必要です。			
委員意見	レファレンス事例を再調査のうえ、公開につなげられている。公開する事例の選択に際して、利用者がキーワードでは探せない、意外性のあるものを公開するなど、レファレンスの周知や利用につなげてほしい。			外部評価
				A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標2】だれもが利用できる図書館

		令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	I	実利用者率	
		15	%
		13	%
今年度重点的に取り組む目標	広く市民向けに図書館の認知向上につながる事業をおこない、図書館を利用する市民の増加をはかります。		
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など、図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。		令和5年度達成状況
成果	市民活動団体と共催で読書会を4回（参加者計33人）を開催したほか、出前講座で8団体（参加者計214人）の園や団体で絵本の講座やおはなし会を実施しました。初めての開催となった読書会では、参加者同士で本を読むことの楽しみを共有する機会を創出することができました。		B
課題	企画するも参加者を集めることができなかった行事もあり、内容、対象者、周知方法などにさらなる工夫が必要です。		
委員意見	図書館の未利用者の年齢・性別・地域などの分析をおこない、働きかけをすることが大切である。また、利用者にリーダーになってもらえるような工夫も必要である。		外部評価
			B

			令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	2	郵送・貸出点数	300 点	336 点
今年度重点的に取り組む目標	庁内各課や関連機関と連携し、図書館のしょうがい者サービスの広報を強化します。			
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など、図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。			令和5年度達成状況
成果	長寿推進課の発行する冊子「ながはまお助け帳」に宅配サービスを掲載し、SNSやケーブルテレビでしょうがい者サービスを取り上げるなど、従来にない周知方法を取り入れ、図書館利用に困難がある人からの問い合わせが郵送貸出の利用につながりました。			A
課題	しょうがいのある市民本人だけでなく、家族や支援者にも広く広報し続けることが必要です。			
委員意見	引き続き、対象の人に届く広報に取り組まれ、サービスを継続されたい。			外部評価
				A

			令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	3	関係課や機関と連携した年間事業数	4 件	9 件
今年度重点的に取り組む目標	関係課や機関とのコラボレーション企画した事業・展示などを実施します。			
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など、図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。			令和5年度達成状況
成果	人権施策課「男女共同参画」「国際女性デー」、健康推進課「食育月間+やさいのお話会」「がんを知らう」「心の健康づくり」、長寿推進課「アルツハイマー」、こども家庭支援課「児童虐待」、しょうがい福祉課「しょうがい者週間」、発達支援室「発達しょうがいを知らう」の展示を実施し、市民に各部署の施策と関連資料を紹介できました。また、議会図書室機能を充実させるため、議会事務局と協働で図書館から調査研究活動に役立つ資料の提供をおこないました。(テーマ「防災・減災を考える」)			A
課題	あらかじめ年間の展示スケジュールを組み、広報なども含め、より効果的に図書館サービスの認知向上を図ることが必要です。			
委員意見	他機関と機会を捉えて関係性をつくったり、声をかけたりして、引き続き戦略的に事業の充実をはかっていってほしい。			外部評価
				A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標3】子どもが本と親しめる図書館

		令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	I 園への団体貸出数	800 冊	2,921 冊
今年度重点的に取り組む目標	園向けサービスの利活用が進むよう周知を行い、団体貸出数を増やします。		
重点的に取り組んだ項目	⑤読書環境や読み聞かせ環境の整備など、園への支援を強化します。		令和5年度達成状況
成果	副園長会にて園向けのサービスについてお知らせしました。団体貸出は、公立・私立園12園から利用されました。ボランティアによる「おうちで読書」開催時などに、「えほんのひろば」が28回利用され、乳幼児が絵本に親しむ機会を増やすことができました。		A
課題	昨年度よりも利用園・貸出冊数は増加しましたが、図書館の園向けサービスを利用したことがない園も多数あります。公立私立企業型を問わず、まだ利用のない園に対して、園向けサービスを利用してもらえるような周知や啓発をしていく必要があります。		
委員意見	園所管課から繰り返しの働きかけなどで貸出冊数が増えたのは評価できる。さらに利用園が増えるように、また提供するための資料の確保と鮮度を保つことに工夫して取り組まれない。 園へのサービスと共に、他のサービスについてもバランスよく取り組まれるような体制を考慮されたい。		外部評価
			A

		令和5年度目標値		令和5年度実績		
指標項目	2	小学4～6年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	7.5	%	11.4	%
今年度重点的に取り組む目標		学校と連携し、学習の傾向に合った資料を提供します。				
重点的に取り組んだ項目		②子どもたちの本を活用した学習活動や図書館見学また職場体験等の機会を通じて、生涯にわたる図書館利用の礎を築きます。			令和5年度達成状況	
成果		学校からの依頼に応じて、図書館の本を貸し出す「団体貸出」の利用件数・冊数が増えました（R4年度124件2,968冊・R5年度140件3,048冊）。依頼に沿った選書ができるよう教科書を確認するなど、職員も意識を高く持って対応しました。 また、学校からの図書館見学、図書館から学校を訪問する機会を大切にとらえ、子どもたちの今後の図書館利用につながるように図書館の使い方説明や本の紹介をしました。			C	
課題		子どもが多くの時間を過ごす学校でより一層本に親しむことができるよう、学校と連携を深める必要があります。また、家庭での読書につながるように、図書へ興味・関心を深めることも重要です。				
委員意見		学校への団体貸出で、児童生徒が学習を深められたり教室で本に親しむときが増えたりするように、資料をそろえ、学校からの貸出希望に応えていってほしい。団体貸出の制度がより利用されるように、教育委員会とも連携して学校や学級担任の先生に働きかけることも大切である。 また、子どもの読書量の底上げをしていくには、これまで同様の取組では難しい。今までと違う方策をとることも視野に入れてほしい。			外部評価	
					C	

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	3	中学1～3年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	15	%	41	%
今年度重点的に取組む目標		貸出や読書につながるような魅力的な書架づくりや、Twitterを活用した広報をおこないます。				
重点的に取り組んだ項目		⑦YA 世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組を行います。			令和5年度達成状況	
成果		中高生向けの本にまつわるイベントを、年齢が近い県立大学の学生の企画で2回おこないました。そのなかで、このイベントの紹介にInstagramを使い、参加者と企画者との双方のコミュニケーションの場を設けることができました。また、夏休みに合わせて、図書館オリジナルのしおりを中学校の図書館に配布して、図書館や本を身近に感じてもらえるようにしました。いずれもX(旧Twitter)で開催と状況を発信しました。			D	
課題		小学生世代と比べると不読率が高く、図書館への来館の機会も遠のいています。中学生世代に魅力的な周知・広報を実施し、来館誘致につなげる必要があります。				
委員意見		事業の効果を検証し、次に役立ててほしい。来館者アンケートなどをとることも考えてはどうか。全国的な課題に向き合うために覚悟を持って臨んでほしい。			外部評価	
					D	

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	4	13～18歳の利用者への貸出冊数	30,000	冊	25,150	冊
今年度重点的に取組む目標		若者の図書館利用につながる事業・企画を実施し、貸出冊数を増やします。				
重点的に取り組んだ項目		⑦YA 世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組を行います。			令和5年度達成状況	
成果		近隣の大学と連携して、展示「ブッククエスト」「平成あこのころ展」や募集企画「POP・本の帯コンクール」を実施しました。「POP・本の帯コンクール」では、昨年度よりも多くの応募があり(応募総数R4年度388件・R5年度560件)、本の存在を身近に感じてもらう機会をつくれました。			C	
課題		対象者の関心をひきつける展示を実施できたものの、図書館利用や貸出冊数増加につなげることはできませんでした。実施する事業の内容を工夫する必要があります。				
委員意見		昨年度と同様の事業を実施しても、事業自体の実績にはなるが貸出冊数の増加にはつながっていない。この世代の人口の動向をみながら、効果的な事業を打ち出していてもらいたい。			外部評価	
					C	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標4】まちの魅力を発信し、地域の文化的な拠点となる図書館

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	I	デジタルアーカイブ資料数	0	点	0	点
今年度重点的に取組む目標		所蔵資料をデジタル化できる次期システムを検討します。				
重点的に取り組んだ項目		③図書館が所蔵する地域の貴重資料のデジタルアーカイブ化を推進します。			令和5年度達成状況	
成果		次期図書館コンピュータシステムで採用するデジタルアーカイブについて調査をおこないました。			D	
課題		令和7年10月の新図書館コンピュータシステム稼働に向け、デジタルアーカイブの仕様を検討することが必要です。				
委員意見		次期図書館システムでは実現するよう、今はデジタル化する資料の収集を進められたい。			外部評価	
					D	

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	2	博物館や資料館と連携した年間事業数	2	回	2	回
今年度重点的に取組む目標		博物館、資料館などと連携し企画展示を実施します。				
重点的に取り組んだ項目		⑤博物館や資料館の企画行事と関連付けた資料提供や展示を行います。			令和5年度達成状況	
成果		長浜城歴史博物館と連携して、H-Iグランプリ展示を実施しました。関連して図書館からは近江の戦国に関する展示を実施しました。また同博物館の「下坂家文書複製物」の展示を実施し、地域の文化を広く伝えることができました。			B	
課題		H-Iグランプリと連携した独自展示を実施し、テーマに深みを持たせることができたように、他の展示でも応用することが必要です。				
委員意見		図書館も博物館もそれぞれの利用につながるように、連携を継続されたい。			外部評価	
					B	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標5】市民とともにつくる図書館

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	1	市民との協働事業の年間開催数	1	回	6	回
今年度重点的に取り組む目標		ボランティアや市民の自主的活動を支援し、継続・安定して活動できるようバックアップします。				
重点的に取り組んだ項目		①市民の協力を得て事業を開催したり、市民の主催事業を図書館が支援したりして、市民の図書館運営への参画を促進します。			令和5年度達成状況	
成果		市民からの提案により読書会や箏のコンサートなど、従来にない事業を図書館で開催することができました。参加した市民からは事業をきっかけに初めて図書館を訪れたという声もあり、新たな図書館利用につなげることができました。			A	
課題		さらに多くの市民が図書館で生き生きと活動することができるよう、具体的な仕組みづくりが必要です。				
委員意見		無料の原則を遵守し、市民に平等に利用してもらえるよう規定などを整え、実行してもらいたい。			外部評価	
					A	

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	2	登録ボランティア数	70	人	66	人
今年度重点的に取り組む目標		市民がボランティア活動を継続できるような仕組みづくりや職員体制を整備します。				
重点的に取り組んだ項目		②図書館を拠点として活動するボランティアが継続し安定して活動できるように支援します。			令和5年度達成状況	
成果		学級巡回文庫、蔵書点検、雑誌リサイクルなどの定期的活動や本の修理、装備、排架、自宅での軽作業等に参加していただきました。修理講座では中級編としてレベルアップを図りました。ボランティアルームを使いやすいよう整備したことで、受入が容易になりました。			B	
課題		継続的に活動される方のスキルは向上していますが、ボランティアの申込人数が減少傾向にあり、新規で参加する方を増やす必要があります。				
委員意見		これまでの登録人数の増減状況を分析し、活動する人を増やして欲しい。			外部評価	
					B	

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	3	市民の展示や活動発表の場の年間提供数	2	回	7	回
今年度重点的に取り組む目標		市民の展示企画等を積極的に受け付け、サポートします。				
重点的に取り組んだ項目		⑤個人や団体が、作品を展示したり活動を発表したりできる市民の交流の場を提供します。			令和5年度達成状況	
成果		市民の主催イベントに協力した「びわ湖のヨシ作品展」「ど・ローカルごはんパネル展」「観音のさとふるさとまつり展」「木育ワンダーランド」「どうする大相談会」「まちなかフェスタサークル展」「ものづくりTECH2023」などの展示を実施し、市民交流の場を提供しました。			A	
課題		規模の大きいものから小さなものまで展示ができましたが、団体からの申し込みが多く、個人からの出展はありませんでした。本を中心とした展示だけでなく個人作成のイラストや工作などの展示も所蔵資料と関連づけて公開することも必要です。				
委員意見		展示などの受け入れ基準を定め、広く活動の場を設けてほしい。			外部評価	
					A	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

1.市民の身近に図書館サービスがある体制づくり

		令和5年度目標値		令和5年度実績		
指標項目	I	サービスポイント数	3	点	3	点
今年度重点的に取り組む目標		サービスポイントについて検討します。				
重点的に取り組んだ項目		①市内全域で同じサービスを受けられる仕組みを構築します			令和5年度達成状況	
成果		余呉文化ホールの終了に伴い、余呉まちづくりセンターでサービスを開始しました。また、よご認定こども園で試行的に資料の団体貸出を実施しました。鮮度の高い資料を定期的に入れ替えたり、リクエストを積極的に受け入れたることで、一定のサービス水準を維持することができました。			B	
課題		サービスポイントの蔵書冊数3,000冊を目標に資料の入替を毎月実施したため、資料選定・資料配送などかなりの労力を要しました。安定したなサービス提供の仕組みを新たに作る必要があります。				
委員意見		現在のサービスポイントを維持できている。続けて、長浜市に最適なサービスポイントのあり方を検討して実現させてほしい。			外部評価	
					A	

2.全体規模と各図書館の役割の見直し

			令和5年度目標値		令和5年度実績	
指標項目	I	蔵書更新率	10	%	12.64	%
今年度重点的に取り組む目標		内容が改訂されたものの差替や新しい資料が少ない分野の補充を積極的におこない、書架の鮮度を高めます。				
重点的に取り組んだ項目		②各図書館の役割と蔵書内容を見直します。			令和5年度達成状況	
成果		全館で、内容の古い本や著しく劣化した資料を約79,800冊除籍し、選書会議で分野ごとに必要な資料を補充することで、書架の鮮度を高めることができました。			A	
課題		司書の視点で必要な資料の判断ができるよう、職員一人一人のスキルアップを図る必要があります。				
委員意見		除籍は難しい作業だと思うが、十分慎重に実施されたい。あわせて、魅力的な書架づくりに取り組まれたい。			外部評価	
					A	

3.質の高い図書館サービスの継続的な提供

		令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	1	専門研修の年間受講者のべ人数	30人
今年度重点的に取り組む目標	専門研修で学んだことを、全体研修などで共有します。		
重点的に取り組んだ項目	①職員の資質向上を図ります。		令和5年度達成状況
成果	職階や担当事務に合わせて、研修を受講しました。新規採用の正規職員は、児童サービス（市、県公図主催）、障害者サービス担当職員向け講座（国会図・日図協共催）なども受講し、司書として知見を得ました。		B
課題	積極的に研修を受講する機会をもちましたが、その結果を共有したり具体的に活かしたりすることが不十分でした。また、受講前に学ぶ目的を理解したうえで参加することが必要不可欠です。		
委員意見	モチベーションの維持や向上につながるよう、様々な職員に研修の機会があるよう工夫されたい。		外部評価
			B

		令和5年度目標値	令和5年度実績
指標項目	2	報道機関への年間情報提供数	45件
今年度重点的に取り組む目標	SNSの更新を継続しておこない、幅広い層への情報発信をします。		
重点的に取り組んだ項目	③図書館の発信力を強化します。		令和5年度達成状況
成果	また、公式X(旧ツイッター)において、企画展示やイベントなど新しい取組を投稿し、幅広い層に周知することができました。 また、新しく取り組んだ行事（読書会、箏コンサートなど）の新聞掲載をつうじて情報発信しました。		B
課題	公式X(旧ツイッター)のフォロワー数を増やすため、投稿の内容や方法を工夫していく必要があります。公式Xがあることを知らない人が多く、館外で周知することも必要です。		
委員意見	情報の集め方や中身を工夫して、コンスタントに発信できるよう引き続き努力されたい。		外部評価
			B